

ガボンの気候

在ガボン日本国大使館

国土の 80%以上が熱帯雨林で赤道直下に位置するガボンは、手入れしなくともバナナやパパイヤなどの果物が木に実り、キャッサバやパイナップルも地面に突き刺しておけば勝手に育つ肥沃な土地です。

1年のうち9ヶ月は雨季で、豪雨と激しい落雷が数時間続いた後に灼熱の太陽が顔を出す日々の繰り返しです。残り3ヶ月は乾季で、その期間には1滴も雨が降りません。雨季は日本の梅雨のような蒸し暑さで湿度90%程度ですが、乾季は湿度も気温もグンと下がり、非常に過ごしやすくなります。この時期、日本人は、肌寒い日の朝晩に薄手の長袖を羽織る程度ですが、ガボン人は、「寒い！寒い！」と言って軍手にマフラー、厚手のコートで完全防寒だったりします。この乾季が終わる頃に降り始める雨は、「マンゴーの雨」と呼ばれます。完熟マンゴーが自然と木から落ちた時が一番美味しい食べ時なので、「マンゴーの雨」が降った後、みな早起きしてマンゴー拾いに精を出しています。

ちなみに、天気雨を日本では「キツネの嫁入り」と言いますが、ガボンでは、「ゾウの出産」と表現します。

(了)